

平成 27 年 2 月 19 日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第9回「高温ガス炉の安全設計方針」研究専門委員会(最終回)
開催日時	平成 27 年 2 月 5 日(木) 9:45~12:10
開催場所	一般財団法人 エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	委員 18 名(植田主査、藤井幹事、岡本委員、中島委員、加藤委員、渡邊委員、松井委員、松宮委員、皆月委員、大橋(一)委員、本田委員、杉木委員、国富委員、大橋(弘)委員、西原委員、文沢委員、湊委員、柴本委員)、 常時参加者 2 名、事務局 1 名
議 事	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 第8回研究専門委員会議事録について 第8回研究専門委員会議事録について確認を行った。</li><li>2. 実用高温ガス炉の安全要件(案)について 安全要件(案)のコメントを受けての修正内容の説明があり、これについて検討・議論がなされ、内容について了承された。</li><li>3. 高温ガス炉の安全設計方針報告書(案)について 前回提出した報告書(案)のコメントを受けての修正内容の説明があり、これについて検討・議論がなされ、内容について了承された。 また、報告書については、安全要件も含めて、主査が最終的に責任を持って確認をし、完成させることで了承された。</li><li>4. 来年度以降の活動について 本研究専門委員会は、今回が最終回となる。平成 27 年度からは新たに、「プリズマティック型高温ガス炉の安全設計プロセス」研究専門委員会(3 月の理事会で承認される見込み)の活動へ移ることが報告された。</li></ol> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第8回「高温ガス炉の安全設計方針」研究専門委員会
開催日時	平成 26 年 11 月 19 日(木) 13:00~16:15
開催場所	一般財団法人 エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	委員 15 名(植田主査、藤井幹事、岡本委員、渡邊委員、松宮委員、皆月委員、大橋(一)委員、本田委員、杉木委員、國本委員、国富委員、大橋(弘)委員、西原委員、文沢委員、柴本委員)、常時参加者 1 名、その他 1 名、事務局 1 名
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第7回研究専門委員会議事録について 第7回研究専門委員会議事録について確認を行った。</li> <li>2. 第7回研究専門委員会における論点の整理について 第7回研究専門委員会で主に議論された、単一故障事象と多重故障事象における事象の包絡性、単一故障事象と多重故障事象の考え方、安全要件(案)に対するコメントについて確認された。</li> <li>3. 第8回研究専門委員会における論点について 安全要件(案)のコメント対応、プルトニウム燃料利用に関する安全要件、報告書(案)の3つの論点について議論することが確認された。</li> <li>4. 実用高温ガス炉の安全要件(案)に対する前回委員会等でのコメント対応について 原子炉の停止、炉心からの除熱、コンファインメントシステム、黒鉛、タービン発電機、外部電源喪失、熱利用施設の一般産業化に係る安全要件(案)に対する前回委員会コメント等に対する修正内容等の説明が行われ、これについて検討・議論がなされた。</li> <li>5. 実用高温ガス炉でのプルトニウム燃料利用に関する安全要件について 検討手順についての説明があり、プルトニウムの核特性とその影響、プルトニウムの影響と安全機能の課題との関係、安全機能に影響を及ぼす可能性がある課題について検討・議論がなされた。</li> <li>6. 高温ガス炉の安全設計方針報告書(案)について 報告書(案)の説明が行われ、これについて検討・議論がなされた。</li> <li>7. 来年度以降の活動について 前回委員会で承認されたが、本委員会は今年度で終了し、新たに、安全要件を具体化していく際の安全設計と安全評価との関連性に係る考え方を検討する目的から、研究専門委員会を設立することとし、これに必要な手続きを進めて行くことが再度、確認された。</li> </ol> <p>次回委員会は平成 27 年 2 月 5 日(木)開催予定。</p>
備 考	

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第7回「高温ガス炉の安全設計方針」研究専門委員会
開催日時	平成 26 年 9 月 11 日(木) 13:00～16:10
開催場所	一般財団法人 エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	委員 16 名(植田主査、藤井幹事、岡本委員、加藤委員、松井委員、渡邊委員、松宮委員、皆月委員、大橋(一)委員、本田委員、柚木委員、国富委員、大橋(弘)委員、西原委員、文沢委員、柴本委員)、常時参加者 2 名、事務局 1 名
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第6回研究専門委員会議事録について 第6回研究専門委員会議事録について確認を行った。</li> <li>2. 第6回研究専門委員会における論点の整理について 第6回研究専門委員会での議論を通した、DBA/DEC/AM の区分の考え方、関連する安全要件の考え方、評価手法及び判断基準の考え方についての論点が紹介され、議論がなされた。</li> <li>3. 第7回研究専門委員会における論点について 安全要件(案)(前回委員会コメントの反映版)、水素製造等の熱利用施設の一般産業化とするための要件の2つの論点について議論することが確認された。</li> <li>4. 実用高温ガス炉の安全要件(案)について 安全上の機能要求の整理に関する考え方について説明があり、安全要件(案)、水素製造等の熱利用に係る安全要件についての案が提案され、これについて検討・議論がなされた。</li> <li>5. 水素製造等の熱利用施設の一般産業化の検討について 熱利用施設の一般産業化の概要について説明があり、熱利用施設の一般産業化に係る原子炉施設の安全上の要求事項について検討・議論がなされた。</li> <li>6. 来年度以降の活動について 本研究専門委員会は今年度で終了するが、引き続き、来年度に実用高温ガス炉の許認可において必要となる安全設計の評価基準に関する検討を実施する研究専門委員会(仮称:実用高温ガス炉の安全設計評価基準)を熱流動部会の下に設立する提案がなされ、了承された。今後、必要な手続きを進めることとなった。</li> <li>7. 高温ガス炉に関する最近の動向について 高温ガス炉に関する最近の動向、HTTR の再稼働に向けた現状と今後の予定について紹介された。</li> <li>8. その他 今年度で本委員会が終了することから、2015 年春の年会で完了報告の企画セッションの申請をするため、発表者等の調整を行うこととなった。</li> </ol> <p>次回委員会は平成 26 年 11 月 19 日(水)開催予定。</p>
備 考	

平成 26 年 7 月 25 日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第6回「高温ガス炉の安全設計方針」研究専門委員会
開催日時	平成 26 年 7 月 11 日(金) 13:30~16:00
開催場所	一般財団法人 エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	委員 13 名(植田主査、藤井幹事、岡本委員、松井委員、渡邊委員、松宮委員、皆月委員、大橋(一)委員、本田委員、杉木委員、國本委員、大橋(弘)委員、文沢委員)、常時参加者 2 名、事務局 1 名
議 事	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 委員会名簿の確認について 新規委員:1 名、委員交代:1 名、所属変更委員:複数名、退任委員:1 名の紹介が行われた。</li><li>2. 第5回研究専門委員会議事録について 第5回研究専門委員会議事録について確認を行った。</li><li>3. 第5回研究専門委員会における論点の整理について 第5回研究専門委員会での議論を通じた、設計基準事故の定義の考え方、DBA/DEC/AM の区分の考え方、評価手法及び判断基準の考え方についての論点が紹介され、議論がなされた。</li><li>4. 平成 26 年度の研究専門委員会スケジュールについて 平成 26 年度の研究専門委員会スケジュールについて、確認が行われた。</li><li>5. 第6回研究専門委員会における論点について 要因/課題とその発生メカニズム及び対策、水素製造等の熱利用に係る安全要件の2つの論点について議論することが確認された。</li><li>6. 要因/課題の発生メカニズムへの対策について 安全要件作成の流れ、要因/課題と発生メカニズムへの対策、軽水炉の安全要件の適用性検討、実用炉・将来的な実用炉の安全要件の相違点について説明があり、これについて議論がなされた。</li><li>7. 水素製造等の熱利用に係る安全要件の検討について 高温ガス炉による水素製造等の熱利用の概要について説明があり、水素製造等の熱利用に係る原子炉施設の安全上の要求事項、水素製造等の熱利用に係る安全要件について案が提案され、これについて検討・議論がなされた。</li></ol> <p>次回委員会は平成 26 年 9 月 11 日(木)開催予定。</p>
備 考	